

平成28年度 学校経営方針

東三鷹学園 三鷹市立北野小学校
校長 仲光 秀城

経営理念

「どの子どもみんな自分の子、ともに育てよう北野の子」

1. 経営理念と経営目標

「子は社会の鏡」「子は大人（親）の背中を見て育つ」と言われます。これからの社会が平和で豊かで成熟した社会になるには、未来の形成者である子どもたちが心身ともに豊かで健康に育つ必要があります。そのためには社会全体の子育ての姿勢が今こそ問われています。本校の地域は、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育てる土壌があります。その土壌を学校が中心となり継続、充実していくように、引き続き『どの子どもみんな自分の子、ともに育てよう』を学校経営の基本理念といたします。

三鷹市では、コミュニティー・スクールを基盤とした小・中一貫教育を推進しています。東三鷹学園の教育目標に沿って、教育目標「考える子ども」「健康な子ども」「思いやりのある子ども」の具現化に向け、子どもたちの成長を願って確かな実践に取り組みます。そのために、保護者や地域の方々とともに力を合わせていきます。また、昨年度からの取組であるユニバーサルデザインを視点とした授業改善の研究をさらに充実し、学校全体の教育力を向上していきます。

日々の教育活動では、子どもたちが伸び伸び活動し、安心して過ごせる学校を目指していきます。そのためには、教職員が生き生きと自己の力を発揮しなければなりません。さらに、保護者の思いを理解し家庭と連携した指導を行います。また、地域と双方向の協力による連携は学校の支えになると考えます。

このような学校を目指すには、教職員に「プロとしての自覚」・「組織人としての動き」・「自分を磨く姿勢」を求めます。さらに、教職員一人一人が「自分の学校」としての当事者意識を高め、この経営方針に沿って組織的に教育活動を自ら推進し、子どもたちの成長のために、教職員が一丸となって学校創りを進めていきます。

<経営目標>

夢（学力・体力の向上）、花（豊かな心）、ハーモニー（協働・響き合い）

<学校経営のキーワード>

Head work

子どもたちの学力を向上させるにはどうしたらよいか知恵を出し合ひましょう。

Heart work

顔は心の出張所、子どもたちの最大の環境は教師です。笑顔で子どもと向き合ひましょう。

Foot work

課題だと感じる感性が大切です。課題を感じたら迅速に対応しましょう。

Network

地域や保護者に信頼される学校づくりを目指して、ボランティアの力を借りましょう。

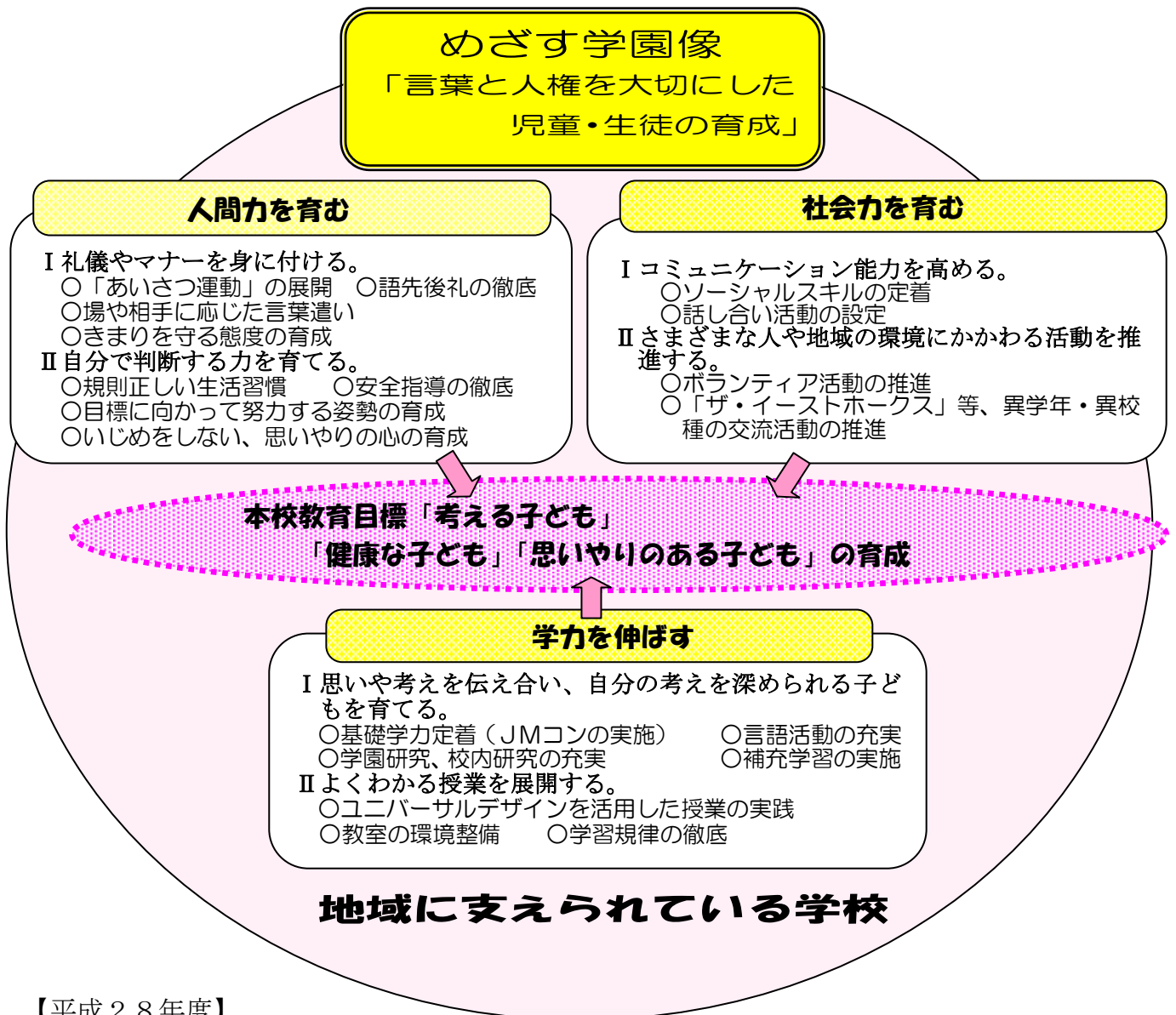
2. 東三鷹学園の目標

< 学園の教育目標 >

豊かな心を持ち、地域と共に生き、人間力・社会力にあふれ、国際社会に貢献する児童・生徒の育成をめざす。

< 平成28年度の重点 >

『言葉と人権』を大切にした児童・生徒を育てる」を学園の重点目標として、ユニバーサルデザイン、「三鷹『学び』のスタンダード」や「東三鷹学園スタンダード（みんなで育てよう！東三鷹っ子）」等に基づき、学習指導、生活指導、その他様々な場面で具体的な教育活動を行う。平成28年10月21日、第六中学校を会場として、三鷹市教育研究協力校の研究発表会を実施する。



【平成28年度】

- 「東三鷹学園スタンダード」の活用を推進する。（CS委員会と連携）

3. 経営方針

【学習指導】

夢（学力・体力の向上）

Head work

学力の向上、体力の向上を目指して具体的な実践をしましょう。

確かな学力の三要素は、①基礎的・基本的な知識・技能、②それらを活用して課題を解決する思考力・判断力・表現力、③主体的に取り組む学習態度です。子どもたちが授業の中で「わかる」「できる」「つかえる」を経験し、確かな力を身に付けられるように、授業改善に取り組みましょう。さらに、次期指導要領改訂を視野に入れていきましょう。

- 1 学園・校内研究を生かして、ユニバーサルデザインを視点とした授業創りを全教科で実践する。また、校内・学級の整備をする。
- 2 各学年に応じた主体的な学習ができるように、毎時間の授業のねらいを明確に、振り返りを行う。また、毎時間、児童にめあてを提示するとともに、授業の導入を工夫する。
- 3 1時間の授業で発話回数を教師対児童、4対6を目指す。一問多答式の授業を目指す。また、児童には完全話型「はい。～です。」を徹底する。
- 4 各学年・学級で読み、書き、計算力の向上のための具体的な手だてを行う。
- 5 基礎基本の定着のために、『ジャンプアップタイム』を計画的に実施する。（各学年毎に定期的、計画的に実施する。）
- 6 体育の授業を充実し運動量を確保する。また、体力調査を生かした実践を工夫する。
- 7 「全校で運動、全校で歌う」機会をつくり、体力の向上や情操を培う。

【生活指導・進路指導】

花（豊かな心を育てる）

Heart work

笑顔で子どもと向き合しましょう。

一人一人の子どもが確かな学力を身に付け、健康な体で豊かな心を持ち、生涯にわたってその個性を開花させてほしいです。その基盤づくりとして、子ども同士・子どもと教師の信頼関係を築き、人権感覚を育み、自分自身の生活向上に主体的に取り組む子どもの育成を目指します。

- 1 全教育活動で人権教育を推進する。いじめ・暴力のない、自分と友達を大切にする学級・学校づくりの取組を実践する。
- 2 「あいさつ」をさらに推進するための新たな取組を創造する。
- 3 相手を思いやる正しく美しい言葉遣いへの取組を実践する。
- 4 Q-U調査を実施し、学級経営に活用する。
- 5 各学年に副担任を配置し、児童の指導や学年経営にあたる。
- 6 通学路の安全点検、登下校指導の充実を図る。（地区班の活用）
- 7 毎日の情報交換（職員夕会）を大事にして、全教職員が共通認識の上で児童の指導にあたる。
- 8 休み時間に校庭でボール遊びができるようにする。（ボールを使える日を増やす。）

【学校運営 特色ある教育】

ハーモニー（協働・響き合い）

Foot work

課題は迅速に対応しましょう。

今、学校教育に求められていることは、組織力を高めることです。組織マネジメントの考え方に立って、PDCAサイクルを実践し、コミュニティ・スクールとしての小・中一貫教育の充実と特色ある教育活動を推進する。また、課題解決を図り、開かれた学校を創りましょう。

- 1 報告・連絡・相談を徹底する。また、事案決定システムを遵守する。
*校長の方針を踏まえた部会・委員会の検討をより充実し、組織の活性化を図る。
- 2 東三鷹学園マニフェスト 2016 の実施とその成果を発信する。
- 3 体育朝会・音楽朝会・児童集会を毎週木曜日に実施する。
- 4 本校の特色ある教育活動として、小・中一貫教育とともに学校農園活動・縦割り班活動を位置付け、計画的に実施する。
- 5 教育支援校内委員会を活用して、課題に対して組織的な対応を推進する。
- 6 通常学級教員と通級支援学級教員が同一組織の一員として、学校運営・教育活動にあたる。
- 7 校内の整備、美化を推進し、児童に豊かな心を育む安全で美しい学校にする。花のある学校づくりを推進し、児童自らが取り組む活動をさらに広げる。
- 8 教員、事務、用務、給食等全職員が一体となってよりよい学校創りに取り組む。

【研究・研修、地域との連携】

ハーモニー（協働・響き合い）

Network

研究・OJT、コミュニティ・スクールの実践をさらに充実していきましょう。

学園・校内研究での実践を生かし、子どもたちに確かな力を身に付けさせていきましょう。また、各教員のもてる力を組織人として生かし、人材育成に学校をあげて取り組みましょう。また、コミュニティ・スクールとして、保護者・地域と学校との双方向の協力を推進し、協働の教育活動を創り上げましょう。

- 1 校内研究では、ユニバーサルデザインを視点とした授業づくりを継続し、学園研究と連携して実践する。
- 2 市教育研究協力校として、昨年度からの研究成果を学園で発表する。また、その成果を日頃の授業に生かす。
- 3 OJTとして、まめ研と教員相互の授業参観を実施する。毎週木曜日の夕会はまめ研とする。
- 4 教職員は地域諸活動へ参加するよう努める。
- 5 サポート隊事務局と連携し、保護者や地域人財を授業で活用する。
- 6 精選してた内容での全校言語活動を実施する。